

物語文を読んでえらぼう

小5／物語を読んで、人物の気持ちや理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 けん玉を よんで、健の気持ちの変化を1つえらびましょう。

けん玉を買ってもらった健は、大皿に玉をのせる技を三日で覚えた。けれど同じ技ばかりくり返すうちに、あくびが出るようになり、だんだん箱から出さなくなった。ある日、兄がだまって玉をくるりと回し、けん先にすんとさして見せた。健は目を丸くし、次の朝からまた毎日けん玉をにぎった。

- 1 同じ技ばかりであきていたが、兄にはげまされてまたやる気になった。
- 2 技がうまくできず落ちこんでいたが、新しい技を見てまた夢中になった。
- 3 技がうまくできず落ちこんでいたが、兄にはげまされてまたやる気になった。
- 4 同じ技ばかりであきていたが、新しい技を見てまた夢中になった。

2 道案内を よんで、時計を見て声を上げたときの真央の気持ちを1つえらびましょう。

近所のおばあさんに駅への道をたずねられた真央は、駅までいっしょに歩いて案内した。おばあさんは何度も頭を下げ、真央にあめを一つくれた。家に帰ると、まだだれも帰っていなかった。時計を見た真央は、「あっ」と声を上げた。楽しみにしていたテレビ番組が、ちょうど終わったところだった。

- 1 見たかった番組を見のがしたと気づいて、がっかりした。
- 2 おばあさんの役に立てたことを思い出して、うれしくなった。
- 3 帰りがおそくなったので、家の人にしかられると思った。
- 4 おばあさんにもらったあめを、落としたと気づいてあわてた。

3 いとこの赤ちゃんを よんで、おばさんに声をかけられたときの陸の気持ちを1つえらびましょう。

陸は、生まれて一か月のいとこをはじめてだっこした。思ったよりずっと軽くて、やわらかい。赤ちゃんが小さく声をもらすと、陸は「泣かせたらどうしよう」と息を止めて、指一本動かさなくなった。おばさんが「かわろうか」と言うと、陸は声を出さずに、何度も小さくうなずいた。

- 1 泣かせないかと気が張りつめているが、まだかわりたくない気持ち。
- 2 泣かせないかと気が張りつめていて、早くかわってほしい気持ち。
- 3 かわいくてむねがいっぱいで、まだかわりたくない気持ち。
- 4 うでがつかれてきたので、早くかわってほしい気持ち。

物語文を読んでえらぼう【こたえ】

小5／物語を読んで、人物の気持ちや理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：4

大皿の技は『三日で覚えた』のに、『同じ技ばかり』で『あくびが出る』ようになり、箱から出さなくなりました（あきた）。兄は『だまって』技を見せただけで、はげましの言葉はありません。

2 答え：1

『あっ』と声を上げたのは、楽しみにしていた番組が『ちょうど終わったところだった』からです。家にはまだだれもいないので、しかられる心配ではありません。

3 答え：2

赤ちゃんが声をもらすと『「泣かせたらどうしよう」と息を止めて、指一本動かさなく』になりました（気が張りつめている）。『かわろうか』に『何度も小さくうなずいた』ので、早くかわってほしいのです。『軽くて』とあるので、うでのつかれではありません。

読み取るコツ

気持ちの変化は、前と後の様子をくらべます。行動や体のようす（息・口もと・目）に注目します。

物語文を読んでえらぼう

小5／物語を読んで、人物の気持ちや理由を1つえらびましょう

なまえ

ひづけ

1 かくれんぼを よんで、顔を出したあとの美咲の気持ちを1つえらびましょう。

かくれんぼで、美咲は 物置の うらに かくれた。おにの 足音が 何度も 近づいては 遠ざかり、やがて だれも 来なくなった。夕方の チャイムが 鳴った とき、美咲が そっと 顔を出すと、みんなは すな場で 別の 遊びをしていた。美咲は くすっと 笑って、小さく つぶやいた。「最後まで、見つからなかった」

- 1 自分をさがさなかったみんなに、はらが立っている。
- 2 長い間かくれていたので、早く家に帰りたくなった。
- 3 見つからなかったのが、ひそかにほこらしい。
- 4 自分をわすれて遊ぶみんなを見て、さびしくなった。

2 通学路を よんで、健太がパン屋の前で立ち止まるのはなぜですか。1つえらびましょう。

健太は 毎朝、通学路の とちゅうにある パン屋の 前で 立ち止まる。やきたての パンの においが ただよってくるが、健太は 店の中には 目も くれず、しゃがんで 入り口の 大きな 水がめを のぞきこむ。中では、カメが 一ぴき、首を のばして 健太を 見上げている。

- 1 店にならぶ新しいパンを、たしかめたかったから。
- 2 やきたてのパンのにおいを、かぎたかったから。
- 3 店の前で、友だちと待ち合わせをしているから。
- 4 入り口の水がめにいるカメを、見たかったから。

3 最後の一問を よんで、そのときのあかりの様子を1つえらびましょう。

テストの 残り 時間が わずかに なった。最後の 一問が わからず、あかりの 手が 止まる。あきらめかけた そのとき、朝 読んだ 本の 一節が ふと 頭に うかんだ。あかりはいそいで えんぴつを 走らせた。

- 1 あきらめかけたが、朝友だちに聞いた話を思い出して書き始めた。
- 2 あきらめかけたが、本の一節を手がかりに答えを書き始めた。
- 3 あきらめかけたが、先生の言葉を思い出して答えを書き始めた。
- 4 あきらめかけたが、前の問題を見直して答えを書き始めた。

物語文を読んでえらぼう【こたえ】

小5／物語を読んで、人物の気持ちや理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：3

別の遊びをしているみんなを見ても『くすっと笑って』、『最後まで、見つからなかった』とつぶやきました。さびしさ・いかり・帰りたい気持ちは書かれていません。

2 答え：4

健太は『店の中には目もくれず』、しゃがんで水がめをのぞきこみます。中にはカメがいます。にこいや店のパン、待ち合わせのことではありません。

3 答え：2

あきらめかけたとき『朝読んだ本の一節がふと頭にうかんだ』ので、いそいでえんぴつを走らせました。

読み取るコツ

気持ちの変化は、前と後の様子をくらべます。行動や体のようす（息・口もと・目）に注目します。

物語文を読んでえらぼう

小5／物語を読んで、人物の気持ちや理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 学級委員の選挙を よんで、そのときの大地の気持ちを1つえらびましょう。

学級委員の選挙で、大地は二票の差で落ちた。友だちが「おしかったね」とかたをたたくと、大地は「うん」とうなずきながら、かばんの中のそろばんに目をやり、ほっと息をついた。委員になれば、毎週木曜日のそろばん教室を休まなければならなかったのだ。

- 1 選挙に落ちたので、次こそ選ばれようと心に決めている。
- 2 選挙には落ちたが、二票差まで追いつけたことに満足している。
- 3 選挙には落ちたが、教室を休まずにすむので安心している。
- 4 選挙に落ちたくやしさを、友だちの前ではかくしている。

2 夏の川を よんで、そのときのみくの様子を1つえらびましょう。

夏休み、みくは祖父と川で、石を投げて水面をはねさせる遊びをした。祖父の石は七回もはねたが、みくの石は一回もはねずに、ぽちゃんとしずむ。それでもみくは、しずむたびにおなかをかかえて笑い、また石をさがしに走った。

- 1 うまくはねなくても、しずむのがおかしくて楽しんでいる。
- 2 うまくはねないので、祖父にコツを教わろうとしている。
- 3 うまくはねないので、祖父に負けまいとむきになっている。
- 4 うまくはねなくても、祖父の七回に感心して見とれている。

3 停電の夜を よんで、悠の気持ちの変化を1つえらびましょう。

夜、とつぜん停電になり、家じゅうが真っ暗になった。悠はこわくて、母のそでをはなせなかった。父がろうそくをともし、家族で小さな火をかこんで話していると、悠はいつのまにか自分からしりとりを始めていた。やがて電気がつくと、悠は「えー、もう？」と口をとがらせた。

- 1 はじめはこわかったが、ろうそくの火まで、あぶなく思えてきた。
- 2 はじめはこわかったが、電気がついたことで、やっと安心できた。
- 3 はじめから少しもこわがらず、真っ暗になったのを楽しんでいた。
- 4 はじめはこわかったが、電気がつくのが残念なほど楽しかった。

物語文を読んでえらぼう【こたえ】

小5／物語を読んで、人物の気持ちや理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：3

そろばんに目をやり『ほっと息をついた』。委員になれば『そろばん教室を休まなければならなかった』からです。くやしさを、次への決意は書かれていません。

2 答え：1

しずむたびに『おなかをかかえて笑い』、また石をさがしに走りました。むきになる様子や、祖父に教わる・見とれる様子は書かれていません。

3 答え：4

はじめは『母のそでをはなせなかった』（こわい）。電気がつくと『えー、もう?』と口をとがらせました（もっと続けたかった）。電気がついて安心したのではありません。

読み取るコツ

気持ちの変化は、前と後の様子をくらべます。行動や体のようす（息・口もと・目）に注目します。